

# 一般質問要旨

# 町の考えを問う

9月定例会の一般質問は、9月7日、8日の両日行われました。10人の議員が登壇し、町と町教育委員会の考えを質しました。質問時間は、各議員に質問と行政側答弁を合わせて1時間割り当て、町側に通告した全項目を行います。質問順に、各議員の主な質問項目と、その答弁要旨を掲載します。



## 質問順

1

五味 仙一 議員

議席 10

1. 住環境について
2. 水環境について
3. 防災について（平成30年版富士見町災害ガイドブックより）

2

島 正孝 議員

議席 6

1. 富士見に生きる、富士見で働く、富士見で暮らす決心をしている若者に夢と希望を
2. 1歳6か月児、3歳児健診で、歯科保健指導の現状は
3. 中学生のインターンシップの現状について
4. シニアカーを利用している老人、障がい者の町内の現状は
5. 町民教養講座の開催について

3

五味 平一 議員

議席 2

1. 令和2年3月25日付第三セクター等経営健全化方針の書面内容及びパノラマリゾートの運営等について
2. 有害鳥獣対策について
3. 平成29年度作成の鳥獣被害防止計画について

4

小倉 裕子 議員

議席 4

1. 収束も見えず、終息することはないと思われるコロナウイルスに対し、今後町の総合計画に基づいて行われる施策あるいは事業を見直す必要も出てくる可能性があると思われるが考えは
2. コロナの不安を抱えた中での災害時の対応について

5

川合 弘人 議員

議席 1

1. オンラインを行政、教育にどう活かすか
2. 諏訪南リサイクルセンターの稼働に向けて
3. 外来植物（帰化植物）の繁殖への対策をどう進めているか

6

三井 新成 議員

議席 7

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. エコーラインの沿線の整備について

7

織田 昭雄 議員

議席 9

1. 町の有害鳥獣対策について
2. 町内の橋梁管理について
3. 富士見駅前の今後の整備計画について

8

名取 武一 議員

議席 8

1. 気候非常事態宣言について
2. 国保料の子どもの均等割について
3. 「新型コロナウイルスに係る介護サービス事業所の人員配置などの臨時的な取り扱いについて（第12報）」の運用について
4. 少人数学級について

9

牛山 基樹 議員

議席 5

1. 新しい日常を地方の再生に繋げる機会にするための、ウィズコロナ、アフターコロナの戦略的な新しい社会構想について

10

名取 久仁春 議員

議席 3

1. 移住・定住及び関連施策について

- 質問順は、議会運営委員会の中で、委員によるくじ引きで決めています。
- 一般質問の要旨は、各議員がそれぞれ自分のページを編集しています。



## 富士見駅前商店街は 生き返る

島 正孝 議員



〔答弁〕

商店主の知恵と経験と情熱があれば可能

**質** 夫な歯こそ生命  
心身の発達、発育に歯は非常に大切である。1歳6カ月児、3

**質** 若者がその能力を発揮するチャンスを。

**質** 富士見に生きる、富士見で働く、富士見で暮らす決心をしている若者に夢と希望を。

**町長** これからの富士見町の発展の多くを今の若者の情熱と意欲この町をもっともつと住みよ、暮らしやすい町にしていきたいという前向きな取り組みにかかっている。若い人は情報には恵まれているが、自由な発想が来ているのか、若者の中に入って情報交換し、支援していきたい。

## 防災マップに氾濫情報 を反映できないか

五味 仙一 議員



〔答弁〕

情報を考慮した地区防災マップを作る。

**質** 停電の原因となる支障木について  
道路や電線への支障木の伐採事業が継続されればと思うが、今後の計画は。

**町長** ライフライン等保全対策事業によって電線周辺の支障木を伐採処理することができるようになった。町道立沢広原線、町道乙事広原線で伐採を行った。この事業について中部電力パワーグリッドからも大規模停電を未然に防ぐ成果があったと評価をいただいている。本年度は上水道施設の電源確保のため、若宮浄水場へ通ずる町道、又今年の7月に倒木によって停電が発生した町道落合線、富士見台付近の伐採を予定している。来年度についても主要幹線等の伐

**質** 歯の健康は、若千の未  
受診児がいる。その子供には、保健師が家庭訪問してサポートしている。歯の健康は、非常に大切であると認識している。これからも、積極的に取り組んでいきたい。

**質** 職場実習体験は、将来の職業  
選択を考える上で、非常に大切である。また、広く対人関係を学ぶ機会でもあるが現状は。

**教育長** なぜ働くのかを考え、自分の将来の職業選択に役立て、また、希望する職業に就くには、どのような学習が必要か、それが勉学意欲に結びついている。

採を計画し、その後も出来るだけ継続したい。

**質** 河川の増水、氾濫危険度  
マップに反映できないか。

**町長** 町としても災害ガイドブックの更新時に合わせて記載出来る事を望んでいる。しかし町の職員が氾濫危険度に関する専門的知見を持っていない事から、県の氾濫マップの作製を待つ対応になってしまう。

町では昨年度から地区防災マップの作製を集落と共同作業で開始している。各集落はそのマップの作成時に河川の状況も考慮し、昨

**質** シニアカーの普及は  
町内でシニアカーと車椅子を利用している人は何人か。また、安全対策は。

**住民福祉課長** 機器を購入時には福祉制度もあり、その制度で対応している。現在利用者は63名。また、自分で購入した人は約20名いるようである。安全対策にも十分配慮している。

**質** 学びはよりよく生きる知恵の源  
町内在住の優れた技能、知識、経験を有している人の町民に伝承する機会を。

**町長** そのような機会をこれからも考えていきたい。

年度2集落が実施済みであり、今後全集落を対象に進めていく予定である。近くで暮らす住民の方々がこれまで経験されてきた身近な感覚として危険な箇所の把握や危険度についても地区内で情報を共有出来ればと考えている。





## 今後の町政について 施策見直しの検討は

小倉 裕子 議員



〔答弁〕

日常を取り戻すことが第一

**質** 今後の町政について  
**質** 収束も見えず、終息することはないと思われるコロナウイルスに対し、今後町の総合計画に基づいて行われる施策、あるいは事業を見直す必要も出てくる可能性があると思われませんか。  
**町長** まずは新しい日常に近づくこと、日常を取り戻すことを第一と考えている。現時点では大きな施策の見直し等をする予定はない。今やらなければならぬことに精一杯取り組むことが今は重要だと考えている。決して悲観はしていない。  
**質** コロナにより、生活環境の変化を余儀なくされる中、情報基盤の整備が、教育・産業・家庭等あ

今後の町政について

らゆる場面で必要となっている。それぞれの担当課だけの課題としてではなく、庁舎内共通の課題としてとらえ、課を縦断し進めることはできないか。  
**町長** コロナ禍による生活環境の変化に対応するために、必要な環境や機材の導入はすでにそれぞれの担当課で検討し計画を進めている。全町を網羅する情報基盤の整備は今着手する段階ではないと考えている。低負担、高効果な方法を今後庁舎内を縦断し検討し進めていきたいと思っている。

**質** コロナ禍で災害が発生した場合、全住民が避難所に避難できるような状況ではないことが現実的であるが、適切な情報をどのように提供するかの。  
**町長** 可能な伝達方法で提供して

コロナの不安を抱えた中での  
災害時の対応について

**質** 資金投入による手ごたえは。また、近隣市町村からの誘客で今後維持していく可能性は見えませんか。  
**町長** 極めて効果があった。町民の新規利用も多かった。

2大リゾートへの資金投入について

いく。できるだけ多くの手段を考  
える。  
**質** 対処療法だけではなく、町に体力があるうちに、能動的な施策を講じていく必要があるのでは。  
**町長** 状況を見ながら必要な施策を講じていく。



## パノラマリゾートの 現状と課題は

五味 平一 議員



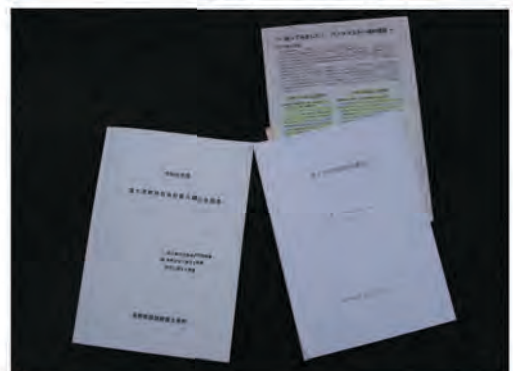
〔答弁〕

パノラマは確実に変革し改革を進めている

**質** 未だに続く満額支払いのな  
い、施設賃借料2億3千万円の根  
拠は減額支払いの協議とは。  
**町長** 施設買取時に町が買い取っ  
た起債28億8千万円の借入が、平  
成14年・15年二回に分けている。  
その1年当たりの返済額1.8億  
円、その1.8億円に施設の維持  
修繕0.5億円で2億3千万円で  
設定された。いろいろな議論の中  
で当初の賃料設定には、開発公社  
の支払い能力は加味されていない。  
起債の返済額と施設の修繕費  
をプラスすると、2億3千万円  
になるからそれが賃料になると  
の、県の指導であった。当時県は  
第三セクターは極端に言えば悪で  
あるとの考えであった。パノラマ  
に対しても経営改善の指導や支援

はよいが、町は財政の負担をす  
べきでないとの指導、町の起債  
28億8千万円は賃料で返せとのこ  
と。町の施設修繕もパノラマから  
の賃料で行うよう指導があった。  
指導を守らないと、上下分離方式  
は認めないということによって決  
定した。  
**質** 平成21年度パノラマ強化方針  
により、24年度までに16億1千万  
円の税金の投入、観光客・収益の  
変化は、電動自転車の購入がある  
がその使途と現在の状態は。  
**町長** ゲレンデの改修、山野草園  
の整備、等により夏の集客に結び  
ついている。  
**副町長** 電動自転車については、  
導入してお客様にアピールし、入  
笠山頂方面へのサイクリングとい

うメニューを提示してきた。20台前  
後と思われるが、一定のニーズは  
あったが現在は償却処分されてい  
る。  
**質** ゴンドラすべてに掛かる費用に  
ついて、損益分岐点は。  
**町長** ゴンドラについて現在承知し  
ていない。基本的にはここ数年の決  
算状況を見てみると、夏冬あ合わせ  
て25万人の入場者があると、ほんの  
僅かであるが黒字の決算が出る状況  
にある。人数面から見ると25万人以  
上がラインであると考ええる。





## 新型コロナ対策の事業評価は

三井 新成 議員

〔答弁〕

特色ある多彩な事業が  
できている



**質** 新型コロナ対策の実施状況は、対応と評価は

**町長** コロナ対策の実施状況は。町長 補正予算1号、3号、4号の中における地方創生臨時交付金を使って36の事業を行っているところであり、事業活動に影響を受けている事業者や日常生活に支障をきたしている町民の皆様、医療介護関係機関の皆様は支援している。総括と評価は年度末に行う予定。特別定額給付金については、3か月間の受付期間を設けて、支給対象者の99・9%の方に支給実行された。申請にあたっての書類上の不備については、照合作業により修正を行った。

**質** 応急対策と感染防止対策の備

品は十分に機能するか。

**町長** 今は防止策に必要なものや、備蓄品は最低限のものを確保している。自助、共助、公助を最大限にお願いしていく。

**質** 持続化給付金の支給状況は。

**町長** 協力企業に対して20万円を限度として町からも追加として2割を補助し、222件の、4,324万円を支給、感染拡大防止対策として休業や時間短縮された企業へ協力金を69件に支給した。

**質** 攻めの誘客事業の効果と今後の追加策は

**町長** 7月より町内2大リゾートの施設の利用料金を町内はじめ近隣市町村の利用者を対象に無料としている。8月末現在では、前年に比べ、パノラマリゾートでは

## リモートワークの拡大をどう活かすか

川合 弘人 議員

〔答弁〕

補助金の充実を検討、  
居住確保に努める



オンラインを行政、教育にどう活かすか

**質** 行政手続きのオンライン化を進める考えはあるか。

**町長** 今後はオンライン化が強力に推進されると思う。処理件数が多く、利用者の利便性向上や、業務効率化の効果が高いと考えられる手続きについて、まずオンライン化を進める。利用者の利便性向上とメリット拡大に努める。

**質** リモートワークの拡大に伴い、移住促進に向けて、補助金充実を検討できないか。居住先の確保はどう進めるか。

**副町長** リモートワーク、テレワークが市民権を得たというのは本当だと思う。コワーキング補助金を充実すれば、関係人口を増や

すことにつながる。検討したい。居住先の確保は引き合いが多く、ありがたいが、物件を確保できない。SSTのチームで方向を探りたい。

**質** 紙類の完全循環型ネットワーク

**町長** 3市町村で処理方法を一本化すべきではないか。

**町長** コスト負担とデメリットが多いと判断している。将来の情勢によっては、共同処理に加わる可能性もある。

**質** 外来植物（帰化植物）への対策

**質** 外来植物の町内での繁殖状況は。



今夏は町内で繁殖し、黄色い花が目立ったオオハンゴンソウ

**町長** 種類が多く、町内の繁殖はすべて確定できていない。アレチウリは河川沿いだけでなく、牧草地の繁殖も確認されている。早期発見と速やかな防除に努めるとともに、分布マップを作成。地域住民の協力で定期的な駆除を進めたい。

**質** 今夏は黄色い花、オオハンゴンソウが大繁殖した。町は実態を承知しているか。駆除の計画は。

**建設課長** 町内での繁殖はそれほど把握していない。駆除は必要だという認識だ。

**質** 分水の森の伐採で、外来植物の侵入が危惧されている。植生管理の対策は。

**建設課長** 今後の管理に努めていく。

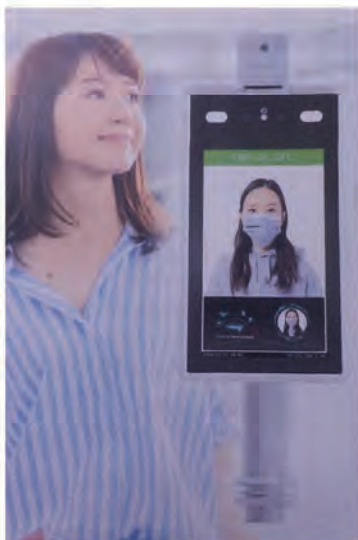
102・7%、高原リゾートでは139・1%と多くの利用者が訪れている。2大リゾートのすばらしさを知ってもらい、今後に期待し11月15日まで続ける。

**質** 地方創生臨時交付金は継続するか

**町長** 今のところ配分金額や通知時期については未定ではあるが、国の第3次補正は、早ければ11月から年末までに示されると聞いている。

**その他質問**

■Ecoラインの沿線の整備について





## 気候非常事態宣言 すぐ具体化を

名取 武一 議員



〔答弁〕

今はコロナ対策、  
国・県に同調して

**質** 気候非常事態宣言について  
**質** 町長は3月議会で「県の趣旨には賛同している。宣言するためには、体制・行動計画など準備した上で行いたい」と述べられたがそろそろ具体化すべきではないか。  
**町長** 県の呼びかけには町も賛同した。しかし今は新型コロナウイルス対策に力を傾注している。この対応以外に町の余力を割ける状況にない。国・県などでの動きには同調していきたい。

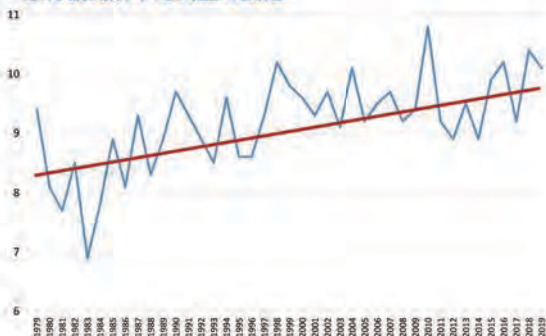
**質** 原村観測所のデータでは、ここ40年で平均気温が1.4度上昇し、真冬日は過去最高年間60日の時もあったが、今年は2日のみ、温暖化は着実に進んでいる。その

**質** 子育て支援の一環として国保料の均等割のうち、子どもの分について町が支援することはできないか。  
**教育長** 国知事会などで子供に係る均等割保険料の軽減を国に要望

**質** 国保料の子どもの均等割について  
**町長** 認識はしている。  
**質** このままでは造雪時期が遅れ、雪が解けるのが早まる。特にパノラマの将来にとって深刻な問題。同調でなくさきがけを。  
**町長** 温暖化は大変な脅威と感じているが、宣言するだけで解決できるものでなく、当面「同調」以外にない。

**質** 他組合健康保険、協会けんぽ、共済組合などに国保の「均等割」のような制度があるか。  
**住民福祉課長** 協会けんぽなどは月額報酬に対して何%と算定しており、「均等割」のような制度はない。

原村観測所平均気温の変化



## サルの生息数が増加しているのでは

織田 昭雄 議員



〔答弁〕

推測 200 頭、4 つの群れが  
生息している。

**質** 有害鳥獣対策について。  
**質** 猟友会員で有害鳥獣の駆除に何人が携っているか、また、年間捕獲数は。  
**町長** 猟友会員は41名おり40人を富士見町鳥獣被害の実施隊員として、その内4人を捕獲専門員に委嘱している。昨年度捕獲頭数は日本鹿が710頭、日本サルが44頭、イノシシが16頭、その他155頭となっている。捕獲単価は実績によって支払い、個体数調整委託と実労働時間により賃金を支払う委員報酬となる。

**質** 富士見区内でも家の軒先の畑でサルによる農作物被害にあっているが、この現状を町はどう見ているか。  
**質** 富士見区神社横中学校橋の今後の方針についてどの様な検討がされたか。  
**町長** 町の中心部にあり通学路でもあり修繕工事によって延命を考えたがJRとの協議で修繕は10年

### 町内の橋梁管理について

**質** 富士見区内のサル出没については目撃情報、GPSのデータから瀬沢群れが乙川川沿いに移動して出没していると思われる。サル被害の対策としては、追い払い、緩衝帯整備や電気柵がある。電気柵資材購入に対する補助制度を設けている。可能であれば富士見区と調整しながら追い払い講習会などを検討する。

に一度必要になって6億円はかかる。今の橋は1964年に設置され50年が経過しており修理延命には限界がある。歩行者専用人道橋でも10億円以上の経費が必要で、さらにはあの場所は周辺に工事をするのに使えるスペースがない。付帯工事が必要となり、そうすると人道橋でも10数億円はかかる見込み。平成27年に橋の部材が落下したケースがあり、たまたま事故には至らなかったが現状のままは使えないと判断した。これから地元の方々と協議を重ねて中学校橋の今後について方向を出していく。





## 工業用地の確保は

名取 久仁春 議員



〔答弁〕

国土利用計画に沿って、  
県と調整

**質** 衣食足りて住を知るとい言葉があるようにこの3項目はそれぞれに関連があるので、お聞きする。まず移住・定住プロジェクトの陣容と実績は。

**町長** 総務課の企画統計係に専門チームを2名で発足させた。移住者を年17人増やすのが目標。あらゆる支援をワンストップで行えるよう空き家の掘り起こしから不動産業者と連携し、相談にあたる。

**質** 移住相談の件数と年齢は？

**総務課長** 相談件数は40件、20代30代で20件、その他で20件である。

**質** シティプロモーションの活動

## 新しい日常を、地方の再生につなげるには

牛山 基樹 議員



〔答弁〕

移住施策に力を入れ、活力を作る

ウイズコロナ、アフターコロナから作る新しい社会構想について

**質** 移住定住施策の現状と分析、拡大に向けての計画は。

**町長** 移住相談の件数は大きく増えた。8月末で昨年の総数を上回る数で推移している。30代が4割を占め子育て世代の移住希望者の検討が多い。空き家や宅地の掘り起こしを最優先に、ワンストップでの対応を進める。

**質** 子育て世代に絞った対策は出ているか。

**総務課長** 年代別に絞ったものはないが、この年代へ訴求するPRに力を入れる。

**質** 移住希望者の仕事づくり、産業振興、起業に向けたサポートは。

**質** 3年目の具体化は。

**総務課長** すでに事業化しているケースもある。また自分達のプランを行政に託したいという事例もある。

**質** 交付金事業で移住PRサイトの更新運営とあるが。

**町長** 町のサイトである「ウツリスム」の更新で記事を27本作成。

**質** 移住・定住プロジェクトとの関連は。

**総務課長** 同じ係内であり、それぞれに情報交換しあっている。

**質** 産業振興センターの人員と実績は。

産業課長 特別な設定はないが、現行の制度をフルに活用している。

**質** 働き方が多様化するなか、テレワーク推進事業の今後は。

**副町長** 新しいスタイルの働き方の中でも、今は攻めの方法で行く。

**質** 拠点（場所）の整備だけではなく、個々のニーズや、起業に手厚い支援をセットする考えは。

**副町長** 森のオフィスを起点に、そこからの連携が町のメリットになっている。まずは堅持し拡大はまだ次だと考える。個人のニーズへの補助は研究してみる。

**質** 空き家、宅地などの居住環境の把握状況とその発信は。

**総務課長** ニーズは非常に多く、

**質** 工業用地の確保は。

**副町長** テクノ街道沿いの土地需要調査を実施し、併せて国土利用計画に沿って、県と調整していきたい。

**総務課長** 人員は6名、実績は企業訪問による課題の抽出で、分野別に検討会の開催やマッチング支援をしている。

次々と対応に迫られている状況にある。把握は出来ているが、固定された情報発信は出来ない。

**質** 多様な学びの環境整備は。

**教育長** デュアルスクールのメリットもあるが、教育関連の施策には子供の環境を考え、慎重な対応も必要である。

その他質問

■製造業の業況・雇用維持、事業者の求めているニーズへ支援を。

■SDGグリーンリカバリーに向けた復興と取り組みは。

